

## MEMBERS INTRODUCTION

[法人会員ご紹介]



RKB毎日放送株式会社様



マスマチュアル生命保険株式会社様

6月より「RKB毎日放送株式会社」様に法人会員にご加入いただきました。また現在、特別法人会員企業である「マスマチュアル生命保険株式会社」様には、新たに車いすテニス競技の川野将太選手を雇用いただきました。東京2020パラリンピックでの夢を実現するため、そして、その先にある未来を笑顔で迎えるため、すべての支えをチカラに変えて私たちは挑戦し続けます。これからも応援どうぞよろしく願っています。

## MEMBER COMPANY [会員企業様]

### ■特別会員企業

麻生セメント株式会社  
総合メディカル株式会社  
フコクしんらい生命保険株式会社  
マスマチュアル生命保険株式会社

### ■2018年度新規法人会員企業

RKB毎日放送株式会社  
那覇空港ゴルフ練習場株式会社  
藤原製本株式会社

### ■法人会員企業

医療法人あいだ医院  
旭精工株式会社  
株式会社システム  
株式会社麻生  
麻生介護サービス株式会社  
麻生教育サービス株式会社  
麻生健康保険組合

学校法人麻生塾麻生専門学校グループ  
麻生商事株式会社  
麻生メディカルサービス株式会社  
株式会社アル  
株式会社アックス  
株式会社エヌエス  
株式会社エヌ・エスエス  
エフコープ生活協同組合  
株式会社エムアイユー  
株式会社エルゼ  
大分朝日放送株式会社  
株式会社大賀薬局  
学校法人大村学園大村美容ファッション専門学校  
株式会社カステラ本家福砂屋  
株式会社学研プラス  
株式会社キシア  
北原ウエルテック株式会社  
九州電力株式会社  
九州東邦株式会社

株式会社キューデンインフォコム  
株式会社九電工  
株式会社久原本家グループ本社  
株式会社クリオ  
株式会社健康家族  
西部ガス株式会社  
株式会社サカヒラ  
株式会社 サンクリーン九州  
株式会社サンマーク  
三和ホールディングス株式会社  
株式会社翔業  
医療法人仁慈会 西原歯科  
新日本製薬 株式会社  
正晃株式会社  
医療法人聖和会 ゲン歯科クリニック  
株式会社ソーン  
タイシ株式会社  
株式会社高崎組  
高杉製菓株式会社

株式会社タケノ  
株式会社デッサン  
内外電機株式会社  
株式会社長崎国際テレビ  
中村工業株式会社  
中村産業株式会社  
西日本鉄道株式会社  
日伸産業株式会社  
日本電算システム株式会社  
株式会社ハウスクリニック  
学校法人博多学園  
医療法人博愛会京都病院  
株式会社博報堂九州支社  
株式会社BCC  
株式会社ビーバンドコム  
株式会社ヒューマンテクノシステムホールディングス  
株式会社ファミリー  
フォーシーズ株式会社  
株式会社福岡銀行

福岡地所株式会社  
株式会社福岡放送  
富士ゼロックス福岡株式会社  
株式会社フロンティア  
株式会社マイマイ  
株式会社増屋  
株式会社ドリ印刷  
山下医科器械株式会社  
ユナイトアンドグローブ株式会社  
株式会社リロクラブ  
株式会社リロケーション・インターナショナル  
株式会社リンクレア  
学校法人道徳学園専門学校コンピュータ教育学院  
株式会社アソウ・アカウンティングサービス  
株式会社アソウ・アルファ  
株式会社アソウ・システムソリューション  
株式会社福利厚生倶楽部九州  
株式会社ユニバースクリエイト  
(50音順)

## 講演会・競技体験会

お気軽にお問い合わせください

シーズアスリートでは世界の頂点を目指す選手による、企業・学校・自治体など多方面に向けた講演会・競技体験会を実施いたします。自らの挫折を乗り越え、目標に取り組み選手の話は、パラスポーツへの関心や理解を深めるだけでなく、共生社会実現に向けての一助となります。新入社員様へ向けての講演、リーダー研修などでも大変ご好評をいただいています。お気軽にお問い合わせください。

[お問い合わせ・お申し込みはこちらまで]  
092-711-1800 営業時間(平日)9:30~18:00

### 講演実績 (一部抜粋)

- 4/4 内外電機株式会社【小西】
- 4/24 株式会社麻生【川野】
- 5/8 学校法人福岡文化学園 博多女子高等学校【浦田】
- 5/16 世田谷区荻巻小学校【信沢】
- 6/14 熊本県立鹿本高等学校【浦田】
- 7/6 株式会社サンクリーン九州【浦田】
- 7/12 小林市立栗須小学校【浦田】
- 7/25 東京海上日動火災保険株式会社【小宮】
- 7/31 RKB毎日放送株式会社【浦田】

## C's Athlete

# 再燃

特集

小西恵子

葛藤を乗り越えてつかんだ新たな光



挑戦者たちの軌跡、フィードルの記憶

障がい者スポーツ選手雇用センター  
シーズアスリートニュース「レコード」

2018.8 vol.51



### 活動予定

- 8/23~8/26
- 8/26
- 8/28~9/2
- 9/1~2
- 9/8~9
- 9/8~9

Birmingham Canadian Wheelchair Tennis Classic(カナダ/バーミンガム)【川野】  
北海道マラソン2018(北海道/札幌市)【山下】  
US Open USTA Wheelchair Championships(アメリカ/セントルイス)【川野】  
第29回日本パラ陸上競技選手権大会(香川県/高松市)【小西・城間・副島】  
2018日本ゴールボール選手権大会女子予選大会(埼玉県/所沢市)【小宮・浦田】  
2018日本ゴールボール選手権大会男子予選大会(埼玉県/所沢市)【信沢】

- 9/18~9/22
- 9/25~29
- 10/6~13
- 11/11
- 11/17~18

Sardinia Open(イタリア/サルディーニャ)【川野】  
French Riviera Open(フランス/マリティーム)【川野】  
INDONESIA 2018 ASIAN PARA GAMES(インドネシア/ジャカルタ)【小宮・浦田・川野・小西】  
おかやまマラソン(岡山県/岡山市)【山下】  
2018日本ゴールボール選手権大会(東京都/足立区)【小宮・浦田・信沢】

## C's Athlete MEMBER [シーズアスリートメンバー]

RIKIYA KUDO	MASAE KOMIYA	RIE URATA	SHOTA KAWANO	YOSHU NOBUSAWA	KEIKO KONISHI	KEISUKE SHIROMA	SHINJI YAMASHITA	MASAZUMI SOEJIMA
工藤 力也 C's Athlete リーダー	小宮 正江	浦田 理恵	川野 将太	信沢 用秀	小西 恵子	城間 圭亮	山下 慎治	副島 正純
ゴールボール男子 強化指導スタッフ 1981年 福岡県生まれ 19才でレーベル病になり 視力低下 (株)アソウ・ヒューマ ニーセンター社員	ゴールボール 選手 1975年 福岡県生まれ 小学生のとき網膜色素 変性症を発症 (株)アソウ・ヒューマ ニーセンター社員	ゴールボール 選手 1977年 熊本県生まれ 20才で網膜色素変性 症を発症 総合メディカル(株)社員	車いすテニス 選手 1985年 福岡県生まれ 17歳の時、交通事故で頭 骨を損傷し胸から下手が 麻痺し車いすの生活になる マスマチュアル生命 保険(株)社員	ゴールボール 選手 1986年 東京都生まれ 先天性網膜芽細胞腫 で生まれ、現在の視力 は右は0.01、左は0 フコクしんらい生命保 険(株)社員	車いす陸上 選手 1978年 広島県生まれ 6歳の時、自宅で遊んで いて脊髄を損傷し車い すの生活になる (株)アソウ・ヒューマ ニーセンター社員	車いす陸上 選手 1996年 沖縄県生まれ 生まれつきの二分脊椎 症により両足に麻痺が あり車いすの生活になる マスマチュアル生命保 険(株)社員	ブラインド マラソン選手 1983年 福岡県生まれ 高校卒業後網膜色素 変性症と診断され現在 は視野欠損95%以上 麻生セメント(株)社員	車いす陸上 選手 1970年 長崎県生まれ 23才のとき家業の事故で 脊髄を損傷し下半身不 随となり車いすの生活になる (一社)ウルチアアスリート クラブソシオSOEJIMA 所属

## GUIDANCE OF ADMISSION [入会のご案内]

シーズアスリートではみなさまのご支援をお待ちしております。

会費は全てシーズアスリートの運営費及び選手の競技活動費に使用させていただきます。

会費	会員サービス
<p><b>特別会員</b> 障がい者スポーツ選手雇用の上、本センターへ 出向及び運営費として年間60万円</p> <p><b>法人会員</b> 年会費36万円(3万×12ヶ月)</p> <p><b>個人会員</b> 年会費1万円</p>	<p><b>特別会員</b> 1.会報誌「RECORD」の進呈・関連イベントご案内及びご招待 2.無料講演会開催(年1回) 3.社員の福利厚生としてマッサージの利用</p> <p><b>法人会員</b> 1.会報誌「RECORD」の進呈・関連イベントご案内及びご招待 2.無料講演会開催(年1回) 3.社員の福利厚生としてマッサージの利用</p> <p><b>個人会員</b> 1.会報誌「RECORD」の進呈・関連イベントご案内及びご招待 2.マッサージ25分無料券(1,000円分)2枚 3.マッサージ利用25分1,000円(利用回数制限なし)</p>



【お問合せ先】障がい者スポーツ選手雇用センター「C's Athlete」事務局  
福岡市中央区天神2-8-41 福岡朝日会館14階  
(株)アソウ・ヒューマニーセンター内 担当:工藤/黒田

TEL:092-711-1800 FAX:092-733-0712

シーズアスリート 検索  
http://athlete.ahc-net.co.jp/

# 小西 恵子 葛藤を乗り越えて つかんだ新たな光

□ 5/25~27 Nottwil 2018 World Para Athletics Grand Prix  
 □ 5/31 Daniela Jutzeler Memorial  
 □ 6/2~3 Schweizer Meisterschaften (すべてスイス/ノットウィル)

車いす陸上の小西恵子選手が、5月から6月にかけてスイスへ遠征。  
 3連戦の初戦、100mで5年ぶりに自己ベストと日本記録を更新すると、  
 続く2大会でも好記録を連発した。その躍進の裏側と知られざる胸の内に迫る—。 林 敬起 =文



## Profile

小西 恵子 (こにし・けいこ)

1978年5月20日広島県生まれ。車いす陸上選手。6歳の時、自宅で遊んでいて脊髄を損傷、車いす生活になる。高校時代から車いすテニスを始め、29歳の時に車いす陸上に転向。結婚を機に神戸へ転居し、競技、仕事、家庭の両立を図る女性アスリートとして活躍中。世界パラ陸上競技選手権大会3大会連続出場。世界パラ陸上競技選手権大会2017では、100m200mともに8位入賞。株式会社アソウ・ヒューマニーセンター社員。

## Result

□ Nottwil 2018 World Para Athletics Grand Prix  
 ・100m 3位/9人 (17秒69) ※日本新記録 ・200m 5位/11人 (32秒87)  
 ・400m 7位/11人 (1分5秒71)

□ Daniela Jutzeler Memorial  
 ・100m 2位/5人 (17秒70) ・200m 1位/4人 (33秒77)

□ Schweizer Meisterschaften  
 ・100m 1位/4人 (18秒01) ・200m 1位/3人 (32秒55)

—重要だと位置づけていたスイス遠征、その仕上がりに具合は。

去年から徐々に調子が上がってきていたし、冬季練習でも例年以上に走れている感触がありました。状態としてはかなり良かったと思います。

—不安要素はなかった?

去年のスイス遠征は世界選手権最後の選考レースだったので、すごく気合いを入れて挑んだのですが、逆に空回りして結果がとても悪かったです。そういうこともあって、今年はどうだろうという若干の不安がありました。

—結果は初戦の100mで5年ぶりの自己ベスト更新、しかも日本新記録。タイムは場内の電光掲示板で確認したのですか。

携帯電話の速報と、会場内の掲示板への貼り出しで確認できるのですが、私は貼り出しを見に行きました。

—記録を確認した瞬間の心境は。

実は走り終えたとき、レーサーに取りつけているスピードメーターが時速26.2kmという、これまで見たことのない最高速度を示していたんです。それで“自己ベストかもしれない。更新できているといいな”と祈るような気持ちで見に行きました。確認した瞬間は本当にうれしくて、思わず涙が出ましたね。なかなか越えられない壁でしたから。

—走る前に現地で好タイムが出る予感、予兆はありましたか。

はい。現地での練習で100mを走ったときも26.4kmが出ていたんです。今まで26kmを超えたことがなかったので、“この競技場でこの風であれば、もしかすると…”とは思っていました。

—少しは不安を払拭できた?

これまで筋トレなどのハードなメニューをしっかりとこなしているときは、練習で走ってもあまりスピードが出ていなかったんです。それでちょっとした賭けだったのですが、今回は練習を詰めてやった後、1週間ほど疲れを取って本番にピークをもっていくという調整を試していたので、現地に入って調子が良くて安心しました。

—記録更新の要因は、やはりこれまでの積み重ねでしょうか。

それも確かにありますが、多くの方のアドバイスやサポートを通じて良い方向に導いていただいたことが大きいと思います。競技仲間に練習方法を相談したり、聞いたりして試してみたり。出会って5ヶ月ほどですが、トレーナーさんのアドバイスが私の走りにぴったりと合っていたこともあるでしょうね。

—そのトレーナーはどんな方?

骨や筋肉の動きについて解剖学的な考え方をされる方なんです。初めてお会いしたときに「自分の障害や体のことをもっと理解した上で鍛えれば、不利なこともポジティブに変換できるのでは」と言われたんです。「足が動かないことは逆に武器になるかもしれない。固定できる分、よりいい動きができるようになるかもしれない。それを追求していこう」と。それで一緒にやってみようと思い、練習内容を見直しているところなんです。

—どのように変えたのですか。

筋力をより効果的に使うため体幹を鍛えたり、瞬発力を高めたりするトレーニングが中心になりました。筋トレのメニューの種類を半分以上に減らしたのですが、ベンチプ

レスで以前より重いものを挙げられるようになりました。

—とても効果的だったと。

私は腹筋と背筋が効かないT53というクラスなので、今まで体幹トレーニングはあえて避けていたんです。今もしっかりとした腹筋運動などはできていないのですが、なるべく体幹を使うようにするというか、眠っているかもしれない体の機能呼び起こそうという狙いなんです。

—もう自己ベストを更新できないかも、と弱気になったことはありませんでしたか。

自己ベストが出たのは100mが2013年で、200mが2014年なんです。私が褥瘡(床ずれ)の手術を受けたのが2014年の後半。その後なかなか調子が上がらない状態が続いて、“私のピークはあそこだったのかもしれない”という気持ちは正直、心のどこかにありました。もちろん完全にあきらめていたわけではありませんけど。ただ、自己ベストを更新するベテランの存在が励みになっていて、“私もいつかは”という気持ちもありました。

—新記録が出た後の2戦目の100m、3戦目の200mも自己ベストにあと0.01秒の好記録。気が緩むことはなかったのですか。

正直そうなりかけましたけど、喜ぶところは喜びつつ目の前の走りに集中しようと思っていました。100mの世界記録は16秒19なんです。同じレースのトップはやはり16秒台で、200mの世界記録は28秒61。そこを目指していきたいという気持ちが強いですからね。—今年の抱負は「自分を超える」。まさに有言実行です。実は、スピードスケートの小平奈緒

選手の記事を読んだことが、そう決めた理由のひとつなんです。ライバルや世界ランキングなどばかりにとらわれるのではなく、自分のやるべきことをやって走りやをよくすることに集中する。そして自分を超えていくと。つまり横型比較思考ではなく、縦型比較思考ですよ。私は過去に周りとの比較に縛られてしまった苦い経験があるので自分もそうありたい、自分の走りそのものをおろそかにしてはいけないとあらためて気づかされたんです。応援していただいている方々に結果で応えたいのは当然ですが、今後はそういった気持ちも大事に足元を見つめていきたいです。

—反省点や課題はありますか。

動画で振り返ってみると、後半で頭と手の動きが逆になっていたりとか、良くない癖も出ていました。そうした点を改善していけばもう少しタイムも上がっていくと思っています。

—海外遠征や連戦でコンディションを維持するコツは。

毎回調整に迷わないよう、全大会で状況を記録するようにしています。これだけ走ったら翌日はこれくらい疲れが残った、こんな調整をしたら調子が良かったといったことですね。それを見返しつつ、その時々調子に合わせて調整しています。

—最後に会員様へのメッセージを。

いつも応援ありがとうございます。メールなどで直接メッセージをくださった方もいてすごく励みになっていました。近年で一番いい結果を残すことができたのも会員様のおかげです。今回の記録更新を励みにしつつ、新たな挑戦を恐れずやるべきことをしっかりと継続していきます。



林 敬起 はやし・たかき =文

フリーライター。1969年福岡県出身。2000年「月刊ホークス」誌の創刊に参画。以後、福岡ダイエーホークスおよび福岡ソフトバンクホークスファンクラブ会報誌、オフィシャルイヤーブック、「スポーツ報知」紙などで記事を執筆。



## “あと一歩”について あらためて考える チャンスをもたらした

□6/3~8 2018 IBSA Goalball World Championships (世界選手権)  
(スウェーデン/マルモ)

### ゴールボール女子 [小宮・浦田]

一予選はまず格下に2連勝、しかしロシアとは引き分けでした。

**小宮** 負けなかったというより勝てなかった試合ですね。ただ攻撃面では練習の成果をある程度発揮することができました。

**浦田** 日本としては4点取れたら勝ち試合なんですけどね。

**小宮** 確かに(苦笑)。

**浦田** でも内容では押し負けていました。ほかの試合も含めて今大会では欲しい場面で得点できていたのにディフェンスが耐え切れず、良い流れを崩してしまうことが少なくありませんでした。それが反省点ですね。

トルコには0対5で完敗。

**浦田** 日本の失点の80%以上を占めているバウンドボールを、“これで止められる”という絶対的な自信を持ってコートに入れていなかったことで終始押されてしまったと思っています。

**小宮** 私は出場していませんが、断トツで得点王になったセヴダ選手は確かにすごかった。リオパラリンピック優勝チームの実力を感

じました。

一そして準々決勝、カナダに延長の末に惜しくも敗れました。

**浦田** 2点を先取して勝ち切れる試合だったんですけどね。“ここで勝たなきゃ”と力み過ぎる自分の弱さが出てしまったことが敗因のひとつだと思っています。

**小宮** 以前より得点できるようにはなりましたが、さらに攻撃力を高めないと勝ち切るのは難しいと痛感させられました。

**浦田** 守備に関しては一度リセットする必要があるかなど。たとえば、左右3mをしっかり守ろうと思っても結局は2.5mしか守れていなかったりする。だったら、もっと守備範囲を広くしようという意識で臨めばいい。そうやって、従来より後方で守るディフェンススタイルを確立していきたいです。

12ヶ国中5位という結果をどう受け止めていますか。

**小宮** 現状を突きつけられて今のままではいけない、もっと変化や進化が必要だと痛感しました。

**浦田** 私も同じです。メダルには



届かなかったけど決して遠くはない。その“あと一歩”についてあらためて考えるチャンスだと受け止めています。

**小宮** 当然悔しさはありますが、日本は確実に強くなっています。メダルを獲得のチャンスは確実にあると思える大会でもありました。

**浦田** 確かに5位という悔しい結果でしたが、この悔しさが得た学びを必ず強みに変えます。

10月のアジアパラを含めて今後に向けてエール交換を。

**小宮** どんなに悔しくても前を向く力が強いからです、しっかりと前を見据えてチーム全体で力を合わせてここから這い上がっていきましょう。私自身は、攻撃力を更に高めてチームの得点に貢献したいと思っています。個々のチカラのレベルアップを図ってチーム一丸となって勝利に繋げましょう。

**浦田** 小宮さんはいつも以上にコ

#### Result

**【女子】5位**  
1位 ロシア  
2位 トルコ  
3位 ブラジル  
※参加12ヶ国

□6/3~8 2018 IBSA Goalball World Championships (世界選手権)  
(スウェーデン/マルモ)

### ゴールボール男子 [信沢]

## 守れなければ 海外では勝てない まずは国内での失点を 減らす努力が必要

予選では、実力が拮抗している国に初戦から3連勝したものの世界トップ10チームに4連敗。準々決勝進出を競ったアメリカには、1分30秒を残してのコールド負けでした。当然悔しさはありますが、16ヶ国で9位という結果が今の実力だと受け止めています。

今回再認識したのは、もっとしっかりと守れなければ海外では勝てないということ。実はこの1~2年、得点できるが失点もする選手は日本代表とはいえないと思っていたんです。“点を取られたら取り返せばいい”という考え方では世界との距離は離れるばかり。まずは国内の合宿や大会での失点を減らす努力が必要です。

これまでなかなか力を出し切ることが出来なかった大舞台で3連勝し、堂々とプレーができたことはチームとしての大きな収穫です。7試合中6試合で先制点をあげることができたことも評価できます。個人としても、3連勝に貢献する得点をあげることができ、ディフェンス面でも大きく崩れることなくしのぐことができました。もちろん結果を踏まえて立て直しを図っていきませんが、世界のトップチームが全く勝ち目のない壁だとは思っていません。常に危機感を忘れず、前を向いてチームとしても個人としてもレベルアップに励んでいきます。(信沢用秀)



#### Result

**【男子】9位**  
1位 ブラジル  
2位 ドイツ  
3位 ベルギー  
※参加16ヶ国

□5/28~6/3 BNP Paribas World Team Cup (国別対抗戦) (オランダ/アペルドールン)



## 一番の反省点は、 ほかの選手に頼ろうと考えていた 自分の甘さ

去年クワードクラスに転向して現在日本ランキング1位の菅野選手がチームに加わり、今年こそ金メダルが取れるという期待と自信を持って大会に挑みました。しかし結果は、私が2012年に日本代表入りして初めての予選落ちで8ヶ国中5位。すごく悔しいのですが、それが自分たちの今の実力だと受け止めています。一番の反省点は、ほかの選手に頼ろうと考えていた自分の甘さです。私は日本代表3選手でランキングが一番下だったこともあり出場したのは3試合でしたが、自分ももっと勝利に貢献できていればメダルが取れたはずでした。それでも収穫は少なくありませんでした。イスラエル戦でロンドンパラの金メダリストと戦い、彼のようなプレーをすればパワーがなくても勝てることを教えられました。南アフリカ戦では男子クラスから転向してきた選手に負けたものの世界トップ5級の実力を体感できたことは今後の財産です。パワーヒッター対策の成果を随所に出せたことも自信につながります。5位を懸けたカナダ戦のダブルスで菅野選手と組んで勝てたことも来年に向けて明るい材料となりました。次こそは、“自分が貢献してメダルが取れた”と自信を持って言えるようレベルアップして、念願の金メダルをつかみます!! (川野将太)

**Result**  
**【クワードクラス】5位**  
1位 オーストラリア  
2位 イスラエル  
3位 アメリカ  
※参加8ヶ国

**MATCH** BLIND MARATHON [ブラインドマラソン]

□4/22 2018 World Para Athletics Marathon World Cup (ロンドンマラソン)  
(イギリス/ロンドン)

**今シーズンで一番いい走り  
暑い中でイメージどおりに力を出せた**

不安だった長時間移動の疲れは想定内で時差抜けもなく、伴走者ともども万全の体調で臨むことができました。当初は8位入賞と自己ベスト更新を目標にしていたのですが、現地の気温が25度と予想の倍以上も高かったのでペース配分を落とすことに。そして夏の北海道マラソンをイメージして、後半に失速しない走りを目指しました。

懸念していた路面の起伏については伴走者の声かけに頼り、また意識的に水分を多めに補給しました。驚いたのは沿道の人の多さです。スタートからゴールまで声援がほぼ途切れることなく、特に歓声が大きい場所では伴走者との会話もひと苦勞で、大声を出し続けた彼は「初めてレース後に声が枯れた」と言っていました。

入賞にはあと一步届きませんでした。今シーズンで一番いい走りだったと思います。今まで暑い中で結果を残せなかった私にとって初めての海外レース、しかも難コースでイメージどおりに力を出せたことが一番の収穫です。コーチからも「初の海外レースとしては上出来」と言っていました。8位の選手と1分20秒、銅メダリストと14分の差があるので手放しには喜べませんが、十分に射撃圏内。あと2年でしっかりとその差を埋めていきます。(山下慎治)



**Result**

【T11/12部門】  
9位/19人中  
(日本人3位/5名中)  
2時間53分13秒

**TRAINING** WHEELCHAIR RACING [車いす陸上]

□6/11~15 ソシオSOEJIMA強化合宿 (長崎県諫早市)



3月に続いて2度目となる長崎での強化合宿。副島選手をはじめ、自分と同じクラスの選手や年齢の近い選手と一緒に、主に午前中は競技場のトラックでトレーニング、午後はロードで20~30kmの走り込みを行いました。前回同様、大きな刺激を受けるとともに、用具や技術、車いすに乗っていないときの体幹の鍛え方などを教えていただいて大変参考になりました。副島選手から言われた「まだまだ努力も練習量も足りない。どうすればもっと速く走れるのか、コーチの指導だけに頼らず練習内容についてもっと自分自身で考えて行動して欲しい」という言葉を忘れず、一層トレーニングに励みます。是非、また練習に参加させてください。お土産のカステラ、おいしかったです! (城間圭亮)

**特別サポート選手  
副島正純  
活動報告**

- 5/25~27 Nottwil 2018 World Para Athletics Grand Prix
- 5/31 Daniela Jutzeler Memorial
- 6/2~3 Schweizer Meisterschaften (すべてスイス/ノットウィル)

昨年に続き、スイスシリーズへ出場しました。目標は、1500mで3分を切ること、5000mで10分を切ることでしたが、全く目標に近づけませんでした。全日本のコーチより、トラックで前に進むための漕ぎ方がズレていることに注意を受け、大会中に少しずつ漕ぎ方の調整を試みました。感覚的に少しずつ理解でき、大会後半はイメージに近づいてきたと思います。今回、結果には繋がりませんでした。このイメージをトラック、マラソンにいかし、2018年後半戦へ挑みます。(副島正純)

**Result**

- Nottwil 2018 World Para Athletics Grand Prix  
・1500m 36位/47人 (3分21秒83) ・5000m 13位/22人 (10分52秒01)
- Daniela Jutzeler Memorial  
・1500m 11位/27人 (3分10秒72) ・5000m 9位/16人 (10分39秒37)
- Schweizer Meisterschaften  
・1500m 14位/35人 (3分6秒11) ・5000m 10位/18人 (10分42秒48)



**Voice of the member companies**

**支えていただいている  
会員企業様の声**

**麻生セメント株式会社 様**

特別会員企業としてブラインドマラソンの山下慎治選手を雇用し、シーズアスリートの設立当初からご支援いただいている「麻生セメント株式会社」の皆さまに、障がい者アスリート雇用やシーズアスリートの活動についてお話を伺いました。



人事部 労務グループ  
マネージャー  
**鶴田 英樹 様**

2年後に東京パラリンピックを控え、選手の皆さんがそれぞれの目標に向かって努力されている姿に、お会いする度に元気をもらっています。2年後には目標達成されるよう、これからも応援していきたいです。また、シーズアスリートの活動がもっと沢山の企業に広まって欲しいと思います。



人事部長  
**家永 英俊 様**

山下さんは、5年の間当社に在籍いただいた川野さん(車いすテニス)に替わり、今年4月に入社されました。初めて会った際の印象は「温厚篤実」。まさに山下さんのためにあるような言葉です。今でもその印象が変わりはありません。ですが、山下さんをはじめシーズアスリートの皆さんとの交流を通じて常に感じるのは、その「動き(つよさ)」です。常に自分と向き合い自らを律する厳しさ。目標に向かう強い意志。そして併せ持つ人としての優しさ。私たち社員は、そんな姿に接することで自分自身を省み、勇気や元気をもらっているのだと思います。シーズアスリートの取り組みを通じた障がい者支援が全国に広がることを願ってやみません。今年4月に日本代表に初選出された山下さんが、2020年東京パラリンピックのマラソンコースを走る姿を今から想像しています。是非、沿道から声援を送らせて下さい!



人事部  
総務グループ  
**山本 真也 様**

山下さんの出張マッサージは社内で大変人気があり、すぐに予約が埋まってしまうのですが、毎回楽しみにしています。その際に簡単なストレッチなども教えてくださり、仕事の合間に実践しています。また、今まであまり知る機会が無かったブラインドマラソンについて、選手である山下さんから練習や大会のことなど直接伺うことができる良い機会となっています。東京パラリンピックでのご活躍を心より応援しています。



財務部  
**上田 瑞枝 様**

ブラインドマラソンでの体験談やトレーニング方法等、いつも優しく丁寧に教えていただいています。月1回30分間と限られた時間ですが、楽しいお話とマッサージのおかげで、施術後には心も身体もリフレッシュしています。東京オリンピックをはじめ、今後の更なる御活躍を祈念しております。

社員の皆さんと。



出張マッサージで日頃の疲れをリフレッシュしていただきました。



**シーズアスリート  
法人会員・個人会員の仕組み**

- ・共生社会づくり
- ・障がい者雇用の促進
- ・障がい者スポーツの振興と発展

